

2017年度 第2四半期決算概要

2017年11月8日
デンカ株式会社

1.業績の概要

【総括(第2四半期前年同期比)】

- ・当期第2四半期は、原材料価格上昇により石化製品のスプレッドは悪化しましたが、クロロプレンゴムや電子先端製品などの販売数量が増加したほか、原材料価格の上昇に応じた販売価格改定が、ヘルスケア分野などで将来に向けた先行投資による費用負担増加をカバーし、営業利益は143億円(前年比45.6%増)、経常利益155億円(前年比108.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は123億円(前年比100.8%増)と、いずれも前年を上回りました。
- ・第3四半期以降も、クロロプレンゴム、電子・先端製品の出荷好調が継続する見とおしであり、これらが前年を下回る予想のワクチン出荷や、先行投資の負担増を補うことにより、通期予想営業利益は、過去最高となった2015年度の306億円を上回る320億円に上方修正し、経常利益は310億円、当期純利益も220億円に修正しました。

【セグメント別状況(第2四半期前年同期比・通期見通し)】

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、クロロプレンゴムの出荷増や採算是正を目的とした価格改定が、シンガポールスチレン系製品の原料価格上昇によるスプレッド縮小をカバーし、増益となりました。第3四半期以降もこの状況が続く見とおしです。
- ・インフラ・ソーショナルソリューション部門は、アルミナ繊維、農業・土木用コルゲート管、輸出セメントの出荷が好調であったことなどから、増益となりました。第3四半期以降も、増益を見込みます。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、半導体封止材向け熔融シリカや球状アルミナ、LED用蛍光体、電子部品・半導体搬送材料用部材の機能フィルム、電子回路基板、パワーモジュール用高信頼性放熱プレートの好調な出荷により、前年に比べ増益となりました。第3四半期以降でも、各製品の好調な出荷の継続により増益を見込みます。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、合繊かつら用原糸の販売は前年を下回りましたが、その他製品でカバーし、営業利益は前年並みとなりました。第3四半期以降は合繊かつら用原糸の需要回復により増益を見込みます。
- ・ライフイノベーション部門は、国内外の試薬販売数量の増加を見込みますが、インフルエンザワクチン製造株の選定遅れにより製造・販売が前年を下回ることや、研究開発費等の負担増から、通期で前年比減益を見込みます。

【業績予想の修正と中間配当および期末配当予想の修正(増配)】

- ・上記通期見通しを踏まえて、通期業績予想につきましては、売上高4,000億円(前回予想に同じ)、営業利益320億円(前回予想比20億円増益)、経常利益310億円(同30億円増益)、当期純利益220億円(同10億円増益)に修正しました。そして、この増益修正を踏まえ、中間配当を前回予想の1株当たり7円から3円増配して10円とし、期末配当予想につきましても、前回予想の1株当たり37円50銭から12円50銭増配して50円に引き上げることといたします。この結果、株式併合考慮後の1株当たりの年間配当金は、前回予想に比べ27円50銭増配の100円となる予定です。
- ※当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しており、期末及び年間の配当額は当該株式併合後の数値に換算した金額となっております。
- なお、予想配当性向(連結)は、前回予想の30.3%から40.0%になります。

【業績】

(単位:億円)

	2017年度 第2四半期実績 (4-9月)	2016年度 第2四半期実績 (4-9月)	増 減
売上高	1,878	1,718	160
営業利益	143	98	45
経常利益	155	74	80
親会社株主に帰属する当期純利益	123	61	62

	2017年度 通期予想 (4-3月)	2016年度 通期実績 (4-3月)
売上高	4,000	3,626
営業利益	320	258
経常利益	310	232
当期純利益	220	181

2.セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

	2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増 減	
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	857	722	135
	営業利益	72	34	39
インフラ・ソーショナル ソリューション	売上高	260	246	14
	営業利益	7	2	6
電子・先端 プロダクツ	売上高	264	229	35
	営業利益	47	33	14
生活・環境 プロダクツ	売上高	204	207	△ 2
	営業利益	8	9	△ 2
ライフ イノベーション	売上高	120	127	△ 7
	営業利益	6	18	△ 12
その他 消去差	売上高	173	188	△ 15
	営業利益	3	3	△ 0
合 計	売上高	1,878	1,718	160
	営業利益	143	98	45

	2017年度 通期予想	2016年度 通期実績
売上高	1,750	1,517
営業利益	135	78
売上高	550	518
営業利益	15	9
売上高	560	463
営業利益	95	71
売上高	430	412
営業利益	15	15
売上高	340	340
営業利益	55	79
売上高	370	377
営業利益	5	7
売上高	4,000	3,626
営業利益	320	258

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

		2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増 減
投 資	設備投資	99	104	△ 5
	M & A 他	42	6	36
	計	141	110	31
減価償却費		124	121	3
研究開発費		68	65	2
有利子負債残高		1,210	1,257	△ 47

2017年度 通期予想	2016年度 通期実績
270	257
42	12
312	269
250	244
150	130
1,120	1,137

	2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績
為替レート [円/\$]	111.4	107.3
国産ナフサ [円/kl]	37,800	31,550

2017年度 通期予想	2016年度 通期実績
110.7	108.8
40,400	34,600

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増 減	販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	857	722	135	117	18
インフラ・ソーシャルソリューション	260	246	14	△ 2	16
電子・先端プロダクツ	264	229	35	△ 2	37
生活・環境プロダクツ	204	207	△ 2	3	△ 5
ライフイノベーション	120	127	△ 7	△ 3	△ 4
そ の 他	173	188	△ 15	-	△ 15
合 計	1,878	1,718	160	113	47

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	2017年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増 減	販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	72	34	39	117	12	△ 90
インフラ・ソーシャルソリューション	7	2	6	△ 2	4	4
電子・先端プロダクツ	47	33	14	△ 2	21	△ 5
生活・環境プロダクツ	8	9	△ 2	3	△ 3	△ 2
ライフイノベーション	6	18	△ 12	△ 3	△ 4	△ 5
その他、消去差	3	3	△ 0	-	0	△ 0
合 計	143	98	45	113	29	△ 98